

岐阜県の プラスチック

- ・内外の関係者招き『創立40周年記念式典』を開催
└─古田県知事ら4人から激励の祝辞をもらう─┘
- ・『成形用金型』と『ブロー成形』の技能検定実施

写真は記念式典と記念パーティー



内外の関係者招き創立記念式典を開催

『危機の時こそ組織活性化を図れ』

節目の40周年、さらなる発展誓う

岐阜県プラスチック工業組合は新年1月17日午後、岐阜市長良川河畔の岐阜グランドホテルで『工業組合創立40周年記念式典』を盛大に開催した。出席者は来賓の古田肇県知事ら内外の関係機関・団体、賛助会員、関連企業の代表に受賞者、組合員を加えた150人へのぼった。記念式典は『各界の祝辞と表彰式』に続いて『元気な会社の元気な経営』をテーマに記念講演を聞いた後、全員参加の『記念パーティー』で親睦と交流を図った。

とくに式典で組合員は、古田県知事から「変革の中、新技術・新分野への進出を期待する」とする祝辞、また記念講演では疋田文明講師から「危機の時こそ、組織の活性化と人材の育成を図れ」と、迫り来る経済危機を前に激励を受けた。

新しい流れ見つけ 工組あげて取組む

— 大松理事長の式辞 —

記念式典は、日比勝次副理事長の「協会時代を経て昭和43年6月8日に工業組合を創立し、節目に当たる40周年を迎えたところです。その晴れの記念式典に多くの人々にご出席していただき、開催できることに深く感謝します」の開会の言葉に続き、大松利幸理事長が式辞を述べた。

大松理事長は「プラスチック原料は昭和33年頃から量産され、間もなく県内でも加工業界が誕生、産業・経済の発展と共に成長してきました」と業界と工業組合の成長過程を説明し、工業組合の進むべ



記念式典で式辞を述べる大松理事長と来賓、組合関係者

き方向を次のように示した。

「プラスチックは加工特性が抜群、しかも汎用性に優れていることから瞬く間に全産業で活用され、鉄を凌ぐ基幹産業に成長している。県内業界も七大産業の一翼を担い、県経済に占める地位は相当に高い。ところが成長過程でオイル危機、相次ぐ樹脂高騰、さらに円高不況に苦しめられ、くぐり抜けてきたのも束の間、今度

はトヨタ・ショックに家電業界の不振が重なって、業界に逆風の渦が吹き荒れている」。

「しかし先を見透すと明るい光も見える。すでに植物由来の樹脂は実用化され、地球環境の改善、新分野への活用などと、業界が進むべき活路と果たす役割は多い。危機の中から、新しい流れを見出し、工業組合あげて取り組んでいけば明るい未来が生まれてくる」。

『変革の中、新分野への前進を期待する』

古田県知事から来賓から、県経済に果たす役割や激励の祝辞

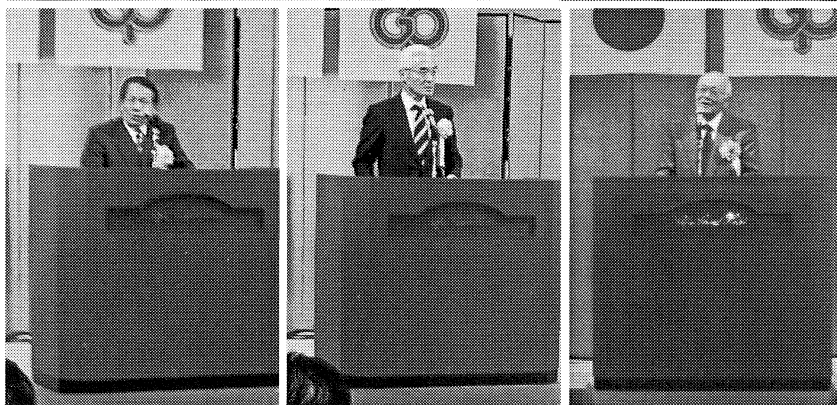
記念式典には多くの来賓を招いたが、代表して古田肇県知事、玉田和浩県議会議長、小島伸夫県職業能力開発協会会長、辻正県中小企業団体中央会会長の4人から激励の祝辞を受けた。

古田県知事は「通産省時代、化学部門に所属し石化プラントの過剰設備問題、また渡米して総プラスチック製の家調査に参加して活用から廃棄処理問題にも携わり、業界の将来に強い関心

心を寄せてきた。県政では経済と災害時の危機管理対策に取り組んでおり、この変革の中、業界はいち早く新技術・新分野を掴み前進することを期待している」と激励した。

続いて玉田和浩県議会議長は「百年に一度と言われる不況の嵐が吹き荒れる中、一致団結して物づくりと販売戦略を展開してほしい」。また、小島伸夫県職業能力開発協会会長は「物づくり産業は不況の時こそ人材の確保と育成に努力し、チャンスをつかんでほしい」と呼び掛けた。

最後に指導団体の辻正県中小企業中央会会長は「適者生存というが今ある組織は勝ち残った組合で、この不況にも実力を発揮できると思う」と訴えた。



祝辞。上は古田知事、下左から玉田議長、小島会長、辻会長

記念表彰式で組合員と関係者の功労讃える

県知事表彰、中央会会長表彰・感謝状、工業組合理事長表彰・感謝状・従業員表彰



表彰式は、知事表彰の8人はじめ中央会会長表彰7人、工業組合理事長表彰21人、同優良従業員表彰8人、合計44人の功績と功労を讃えた。

←表彰式で古田県知事から表彰状を受ける8人。

【県知事表彰】

- 大野 實 (株)東海ポリエチ工業所)
- 杉山 元彦 (パール化成品(株))
- 武藤 幸平 (株)武藤化成工業所)
- 岡部 修二 (シーシーアイ(株))
- 日比 勝次 (大垣プラスチック工業(株))
- 林 貢一郎 (岐阜産研工業(株))
- 児玉 俊一 (コダマ樹脂工業(株))
- 清水 昭市 (有)清水樹脂)

【県中小企業団体中央会会長表彰・感謝状】

《表彰状・青年部役員功労》

- 服部 健夫 (株)服部樹脂)

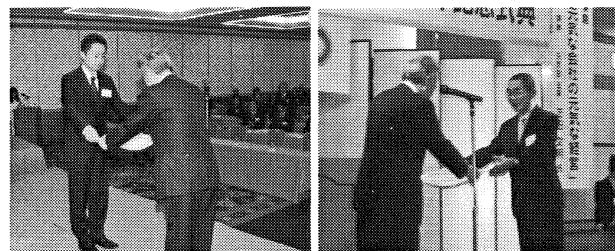
《感謝状・青年部役員功労》

- 川瀬 忠雄 (株)川瀬樹脂工業)
- 杉山 元彦 (パール化成品(株))
- 篠田 治 (岐阜技研ポリマー(株))
- 古田 弘康 (株)古田製作所)
- 林 敬一郎 (岐阜産研工業(株))
- 児山 成広 (児山樹脂工業所)

【工業組合理事長表彰・感謝状】

《感謝状・役員功労》

- 下野 利昭 (アテナ工業(株))
- 石原 良美 (株)ニッセキ)
- 高垣美代子 (八幡化成(株))
- 清生 勝文 (ムトー精工(株))



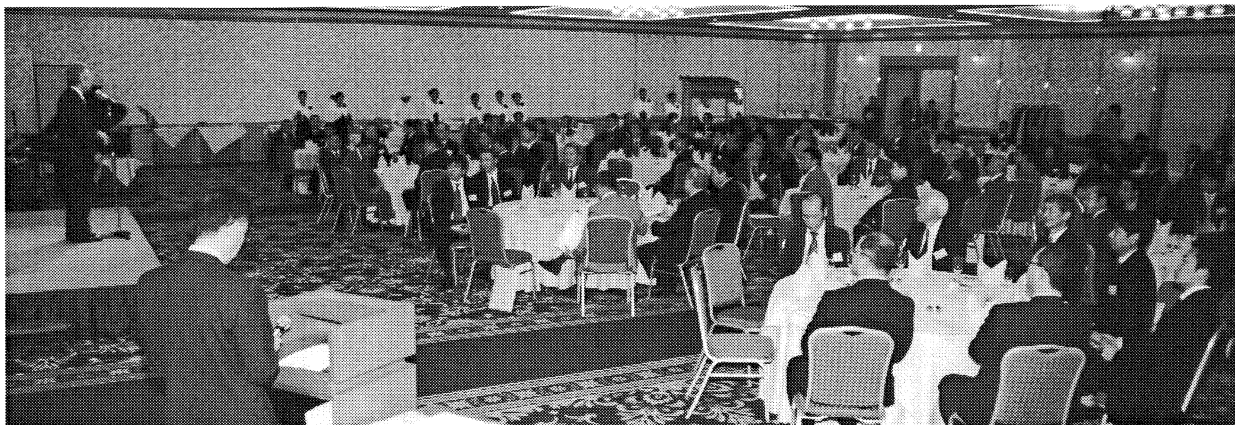
上は中央会表彰、下は工業組合表彰

- 宇野 隆 (株)東海化成工業所)
- 川瀬 保雄 (株)川瀬樹脂工業)
- 齋藤 榮市 (株)齋藤プラスチック工業所)
- 児玉 栄一 (コダマ樹脂工業(株))
- 高安 義英 (高安(株))

《感謝状・青年部役員功労》

- 下出 真澄 (有)下出化成)
 - 横山 剛 (横山プラスチック工業(株))
- ### 《感謝状・技能検定功労》

- 平光 完治 (岐阜技研ポリマー(株))
- 遠藤 益夫 (岐阜プラスチック工業(株))
- 不破 文和 (岐阜プラスチック工業(株))
- 八代 幸路 (岐阜プラスチック工業(株))



記念パーティーで交流

「ミニコンサートでくつろぎ情報交換」

全員参加の記念パーティー（上）は講演会の後、大会場に移りミニコンサートで開幕した。

演奏は納谷嘉彦ジャズトリオ、後半に釜村由紀歌手のボーカルが入り、最後は『懐かしきケンタッキーの我が家』でくつろいだ。

続いて加藤博一県産業技術センター所長の音頭で一同が乾杯、親睦と交流を図った。



各テーブルでは経営や技術の情報を交換、交流を深めた

武藤 茂 (有)ムトー技研
井藤 正司 (ムトー精工(株))
近藤 善彦 (ムトー精工(株))
西谷 誠志 (ムトー精工(株))
竹腰久仁雄 (岐阜県機械材料研究所)

《優良従業員表彰》

岩田 光正 (株旭合成)

島田 岳史 (株旭合成)
小栗 雄磨 (株旭合成)
三摩 和夫 (大垣プラスチック工業(株))
彌永 政宏 (大垣プラスチック工業(株))
野口 栄一 (加茂企業(株))
渡辺 晃 (株東海ポリエチ工業所)
笹俣 洋次 (天龍工業(株))

危機意識の高い今こそ改革の機会に ムダ省く減量経営、組織の活性化も図れ

工業組合は創立40周年の記念式典に続いて『記念講演会』を開催、元気塾主宰の足田文明氏を招き『元気な会社の元気な経営』をテーマに講演を聞いた。足田講師は昭和25年、奈良県の生まれ。竹村健一未来経営研究会を企画して事務局長に就任、昭和61年に独立し経営ジャーナリストとして活躍、近年は『元気塾』を主宰する話題の人。

講師は講演の中で「好況時も不況時も慢心せず、次ぎの手を打て」「ムダを徹底的に省く減量経営と営業を強化する」「同時に人材を育て、組織の活性化を図る」などと、世界同時不況への中小企業対策をアドバイスした。次は講演の要旨である。

好況時も不況時も次の手を打て

○…本当に厳しい年明けです。昨年11頃までは、景気の先行きを見張っておればよかったのに、この様変わり。どう切り抜けていけばよいのか…今日の経営者の大きな課題である。これまで講演の中で「経営組織の大事なものは、継続して栄えること。持続して成長できる企業は好い時にも慢心せず、次ぎなる手を打てる企業」と話してきた。

ところが今年に入って「この話は通用しない」と言われたが、経営の基本は好不況にかかわらず同じだと思う。悪い時は悲観せず、好い時以上に手を打つより方法はない。企業は小さなチャンスも見逃さず、次々手を打って進まなければ伸びていけない。

経済と経営はまったく違う世界

○…ではどんな手を打てばよいのか。その前に申し上げたいのは「経済と経営は似て異なること」である。景気が悪くなれば経営は悪影響を受けることは間違いないから、経済

動向に気を配ってもらわないと困るが、経済と景気は異なる。米国で名を成した大経営者が大統領の経済顧問に就任したが役に立たなかった例、逆に名のある経済学者が経営者として成功した例もない。これは経済と経営は全く違う世界にあるからだ。

会場の皆さん方は経済学者ではないから、自分の企業を守ることに専念されている。大切なことは「他の会社が何%かダウンしても自分の会社だけはプラスにしていく」という信念と、景気に左右されないで常に改革していく意欲を持ち続けることが経営である。

景気が悪くても、企業は伸びる

○…景気が悪くなったのは、今日だけではない。過去には何度もあり、景気が悪い中でも伸びてきた会社はいっぱいある。景気が良くてもダメになる会社もある。要するに経営トップの舵取りしだいで、企業はどの様にも変わっていく。

それでは過去の不況の中、日本の企業はどんな手を打ち、経営してきたのか。体験した



近年では1973年（昭和43年）の石油ショック後の大不況。この時、企業は減量経営に取り組みスリムになって乗り越えてきた。続くは1985年（昭和60年）のプラザ合意後の円高不況。今日より厳しい円高で、輸出不振を内需の拡大や国内需要に力を入れて乗り切ってきた。その東の間、1991年（平成3年）にはバブル崩壊による大不況の到来で、外需、つまり輸出拡大でどうにか乗り切ってきた。

減量経営と営業力の強化を図れ

○…この世界同時不況はどうすればよいのか。一つは減量経営。しかし、可能な限り人の削減に手を付けてはいけない。何を減量するのかというと、経営を見直し徹底的にムダを省くこと。今こそ仕事を整理し見直す時がきている。これまでのコスト削減は人手を減らし、仕事は昔のまま。中小企業は仕事が入ってくると、目先の仕事を優先して、仕事の内容にまで手を付けられなかった。危機意識が高まる時が改革の機会である。

もう一つは営業力の強化。営業方法を見直すこと。従来は一人の営業マンが担当してきたので、その営業マンが居ないと何も判らない。この際、若手や現場の人を営業マンに付け、複数で活動させる。とかく現場の人が営業に出ると見捨てられた様に思うかもしれないが、営業先では技術や工場の話で会話が弾

←講演する疋田文明講師

み、むしろ新しい受注につながる。全社員が営業マンになる意識を育ててほしい。

中小企業では手慣れた人が手慣れた仕事だけをやってきた。これからは組織で仕事をやる。それには個人の力をチームの力に移していく必要がある。個々の能力に頼り分断されていた仕事を、誰にでもできる組織に変えていく。情報を共有し、判断を共有し、実行を共有してこそチームは強くなる。

組織の活性化は人材育成にあり

○…多くの中小企業が抱える問題点は組織にあり、組織に元気が無いと企業は危機を乗り越えられない。組織とは普通の人が集まり大きな仕事を成し遂げるためにある。

組織がぶつ切り状態になると従業員のモチベーション（動機、意欲）が下がってくる。多くの従業員は真面目で能力があり、従業員サイドに問題があると考えたくない。それなのに個人プレイに走り、モチベーションを下げているのは、経営トップを含めたリーダークラスのマネジメントに問題がある。

チーム力を養い、組織を活性化するには、相手の立場に立って考える人材を育てる。営業は工場の立場に立ち、工場は営業の立場に立って仕事をする。それには担当者の交代が早道だが、現実には簡単でない。推奨したいのはクロストレーニングで、教育分野の一環として違う分野の仕事を覚えてもらう。

そして「一専多能な人材」を育てていく。一つの専門分野を持つ人材を育てるのではなく、専門分野を持ちながら多くの分野もこなせる多能な人材を育てることが、組織の活性化につながっていくだろう。

『成形用金型』と『ブロー成形』の実技技能検定 コダマ樹脂(株)本社工場と東海大学校で実施

工業組合は県職業能力開発協会から『プラスチック成形用金型製作作業』と『ブロー成形作業』の技能検定実技試験を受託、実施した。両職種とも平成20年度後期技能検定で、金型製作作業は大野町にある東海職業能力開発大学校の5号館機械加工センターで、またブロー成形作業は神戸町のコダマ樹脂工業(株)本社工場で実施した。

1級2人、2級は6人

┌ 金型受検者、フライスに取組む ─┐

『成形用金型製作作業』の実技検定は1月25日に行ない、午前中に2級6人、午後は1級2人が受検した。

2級検定は『成形用金型に必要なR加工、溝加工などの作業要素』を盛り込んだ課題を、堅フライス盤の手動操作と手加工によって規定の4時間以内に製作した。

また、1級の検定内容は『成形用金型に必要なテーパー加工、R加工、溝加工などの作業要素』を盛り込んだ課題を、堅フライス盤による手動操作と手加工で、規定の4時間30分以内に製作した。

1、2級とも受検者は作業開始の合図と共に素材(鋼材S50C)を堅フライス盤で切削加工した後、仕上げ砥石で手加工による磨きを行ない、最後に研磨紙で仕上げと防錆処理を行ない

完成した。

検定作業中は①工作物の位置替え時、刃物の回転を止めなかった②工作物を落とした③測定器や工具を放置したまま機械を運転した一など場合は減点対象になるので、検定委員の目が光り、受検者は緊張そのものだった。

成形して各個を計量

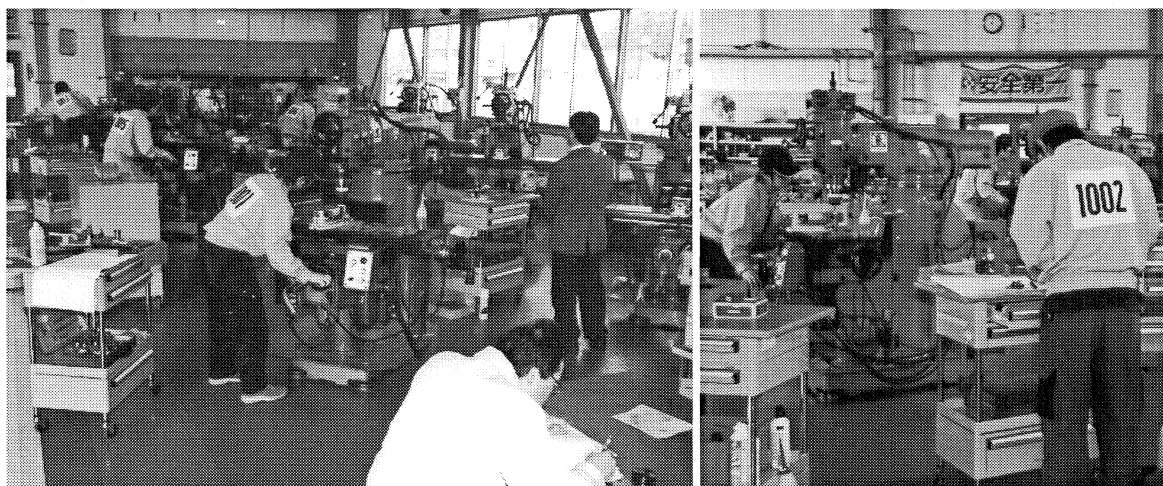
┌ ブローは1級4人2級8人受検 ─┐

『ブロー成形作業』の実技検定は1月26日から土日を除く6日間、実施した。受検者は1級4人、2級8人の合計12人。

検定内容は、1級が4時間以内に『ポリエチレンとポリプロピレンの2樹脂を用い、ブロー成形機で円筒ボトル(50個ずつ)を製作、成形品の内容量と成形収縮率計算票及び材料歩留まり率計算票を作成』した。

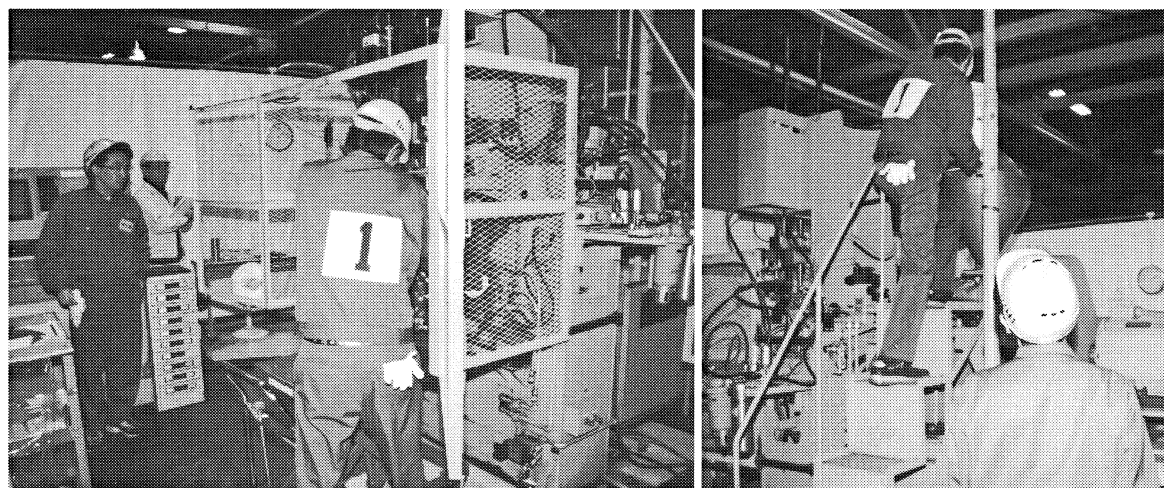
また、2級は3時間以内に『高密度、低密度2種類のポリエチレン樹脂を用い、ブロー成形

8人が受検した成形用金型の検定



機により円筒ボトル（20個ずつ）を製作』したのが検定内容。

使用したブロー成形機は、口径50^{mm}の小型機種で、午前と午後に分かれて約430^個入りのボトル（高さ213^{mm}、直径58^{mm}）を製作した。円筒ボトルは『重量が30^g、しかも $\pm 0.5\%$ 以内の精度で成形しなければならない』とあって、受検者は1個ずつ計量器にかけて測定するなど、真剣な表情で作業をしていた。



12人が受検したブロー成形の検定

オール岐阜県体制で

緊急雇用対策事業がスタート

岐阜県は県内雇用情勢が急激に悪化していることから『緊急雇用対策事業』に取り組み開始した。対策は①離職者等への支援策②雇用の維持確保対策③雇用創出対策—で国、県、市町村の関係機関がオール岐阜県体制で推進していく方針である。

《離職者等への支援策》離職者等の相談窓口を出先機関と関係機関の11ヵ所と、ハローワーク4ヵ所に設置、他の採用内定取り消し特別相談窓口や外国人労働者相談窓口も設けた。

生活資金支援では経済変動対策緊急資金貸付金を創設、国も就職安定資金制度を創設。住宅支援では県と5市、国が実施。就職支援では人材チャレンジセンターに求人開拓相談員を配置

2月に学科試験、3月17日合格発表

後期技能検定は、この他に組合関係企業からプラスチック成形特級で実技・学科4人、学科のみ2人、機械検査2級の実技・学科で1人が受検した。

今後のスケジュールは2月1日に金型と特級の学科試験、同8日にはブローの学科試験があり、3月17日（火）に合格発表が行われる。

し、また離職者向け職業訓練を実施する。

《雇用維持確保対策》中小企業支援策では緊急雇用安定助成金の制度を拡充、労働者を一時的に休業、教育訓練させた場合に、事業主に賃金の一部を助成する。窓口はハローワーク。

県制度融資の拡充（窓口は県内金融機関）では、経済変動対策資金の運転資金限度額引き上げ、緊急金融支援の融資利率の引き下げなどを行なう。この他、経営合理化資金に新エネルギー等支援枠、経営合理化資金に雇用維持枠を創設した。

《雇用の創出対策》県や市（5市）により直接雇用する。地域の雇用機会創出事業としてはふるさと雇用再生特別交付金と緊急雇用創出事業を国の第二次補正交付金を得て実施する。

なお、対策の県相談窓口は各地域振興局産業労働課と県産業経済振興センターに設けられた。

新年度総会を開催

5月21日グランヴェール岐山で

工業組合は5月21日（木）に岐阜市内のグランヴェール岐山で『新年度総会』を開催する。総会では平成20年度の決算、平成21年度の事業計画、同予算などの議案を審議してもらう。

例年は総会後に講演会と親睦会を開いて

いたが、今年はマンドリン・アンサンブルの演奏会を開いた後、全員参加の懇親会を開催、情報交換と親睦を深めてもらう。

演奏者は岐阜中心に地元で活躍するボランティア演奏グループ『凜』（りん）で、マンドリン3人、ギター1人の4人編成の音楽愛好家グループ。当日はオリジナル曲に「川の流れ」など馴染みの曲を加えて約40分間くつろいでもらう計画。

創立記念事業が新聞報道される

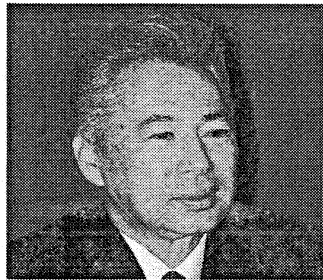
工業組合の創立40周年記念行事が新聞報道された。岐阜新聞（左）では経済団体トップインタビューの中で、大松理事長の創立40周年を迎えた工業組合の役割と企業・業界が取り組む課題を紹介。また、建通新聞（下）には式典行事が詳細に紹介された。

「昨年後半から景気が急速に悪化した。業界環境は材料の高騰に苦しめられた。少しずつ製品値上げを進めてきたが、市況が急速に低迷したことで、販路が追いつかないうちに値上げが難しくなってしまう。今は逆に、デフレを懸念している」

「プラスチック部品は自動車、電気製品な

県プラスチック工業組合理事長
大松 利幸氏

環境分野で需要を開拓



「輸出規模の大きい、先が見えない。プラスチックの開発に製品に多く使われて〇一〇年くらいまでは着手した。これからはこのため、最近辛抱が必要なのではないか」

「輸出産業の危機的状況が大きな打撃となっている。また、同様レジ袋の有料化が広に取引の多い建材関がった。業界への影響も、景気の影響を大きく受けている。急落している面はあるが、創設四十周年の記念式典が一大行事。活動内容はオイルショック環境意識の向上にはシネスチャンスとともなう。当時の谷は一年といえられる。昨年、一部なり」との理念に基づき、地道な人材育成事業は、金融を皮切りに技術センターとタイアップして環境に優しい、グローバル競争に打ち勝てる人材を育てていきたい」

2010新春経済団体トップインタビュー

6



岐阜県プラスチック工業組合大松理事長「写真は、組合設立を背景にプラスチックが新しい産業として日本経済の発展とともに歩み、今では合も一丸となって貢献で講演会や「納谷嘉彦トリオ」のJAZZミニコンサートなどが行われた。冒頭、大松理事長「写真」は、組合設立を背景にプラスチックが新しい産業として日本経済の発展とともに歩み、今では合も一丸となって貢献で講演会や「納谷嘉彦トリオ」のJAZZミニコンサートなどが行われた。

創立40周年を祝う

県プラスチック工業組合

岐阜県プラスチック工業組合大松理事長「写真は、組合設立を背景にプラスチックが新しい産業として日本経済の発展とともに歩み、今では合も一丸となって貢献で講演会や「納谷嘉彦トリオ」のJAZZミニコンサートなどが行われた。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□式典出席ありがとうございました□

岐阜グランドホテルで開催しました創立記念式典に出席していただき、ありがとうございました。記念行事の感想をお寄せください。

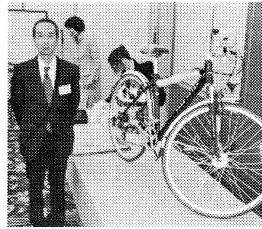
行事の中で元気塾・疋田講師の講演はいかがでしたか。講演後のアンケートでは「経営のヒントを得た」「中小企業のすべきことが理解できた」と好評の半面「もう少し具体的な事例を紹介してほしい」の注文もありました。

□賛助・協賛企業との交流はいかが□

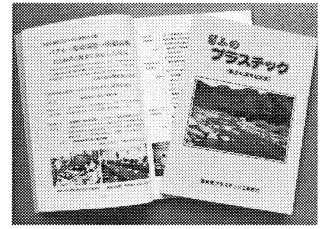
式典後の賛助・協賛企業を交えたパーティーでは、情報交換や懇親を深めることができましたか。パーティーの最後はビンゴゲームで会場は盛りあがりました。当選した15人にはクロスバイク（当選者は協賛会社・オーケー化成株の

白石幸司さん）など各種の賞品を贈りました。

なお、1月末に全組合員企業へ記念誌と記念品（電波掛け時計）を送りました。



白石さん



創立40周年の記念誌

岐阜県のプラスチック 2009年 第195号

平成21年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大塚 忠秋

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューゴン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス繊維強化ポリプロピレン

 日本ポリプロ株式会社

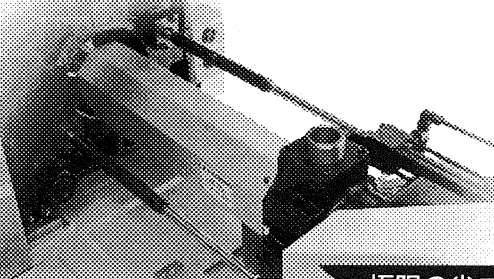
〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500



資源エネルギー庁長官賞

油圧機の革新!

NISSEIのハイブリッド式成形機が従来油圧機の常識を変えました。



極限の省エネ

- 消費電力 最大55%削減(油圧従来機比)…電気式成形機と同等クラス
- 作動油量 最大56%削減(油圧従来機比)

抜群の射出性能

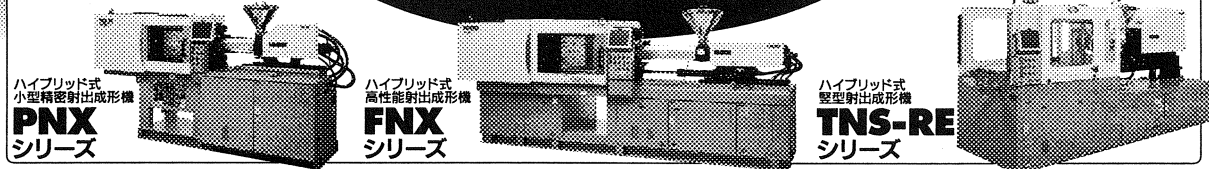
- 射出立ち上がり時間 約1/2(油圧従来機比)
- ワイドレンジ&安定制御 極低速(1mm/s)から高速領域まで

高剛性直圧型締

- 優れた低圧型締性能 ●設定値どおりの型締力(外乱に強い) ●機械精度を長期にわたり維持

極限の省エネシステム「Xポンプ」搭載

※ACサーボモータを駆動源とするハイブリッドポンプシステム



ハイブリッド式
小型精密射出成形機
PNX
シリーズ

ハイブリッド式
高性能射出成形機
FNX
シリーズ

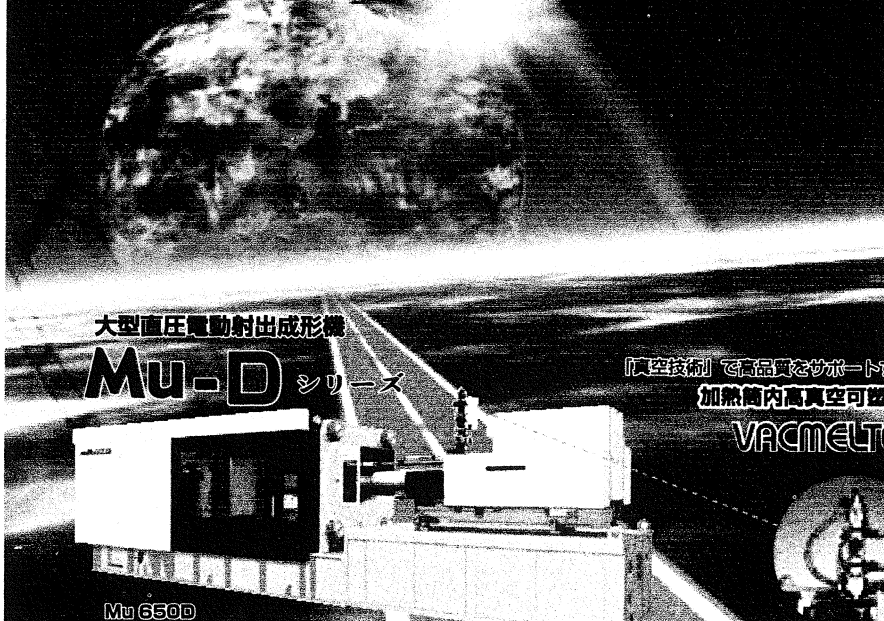
ハイブリッド式
大型射出成形機
TNS-RE
シリーズ

NISSEI 射出成形機・金型・金型製作ソフト・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
<http://www.nisseijushi.co.jp>

- 名古屋営業所・名古屋テクニカルセンター / 〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)
- 岡崎出張所 / 〒444-0858愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430
- 三重出張所 / 〒514-0824三重県津市神戸横田203-4 ☎059-224-0716
- 本社・工場・技術研究所 / 〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 ☎0268-81-1050(営業部)

MEIKI

射出成形機と共に70年



大型直圧電動射出成形機
Mu-D シリーズ

「真空技術」で高品質をサポートする新製品
加熱筒内高真空可密化装置
VACMELTOR

Mu 650D

技術の未来を見据えて。
名機の豊かな経験をもとにした、新たなテクノロジーコンセプトの追求が大型直圧電動射出成形機「Mu-Dシリーズ」、成形サポートシステムの加熱筒内高真空可密化装置「バクメルト」などの未来志向の成果をもたらしました。

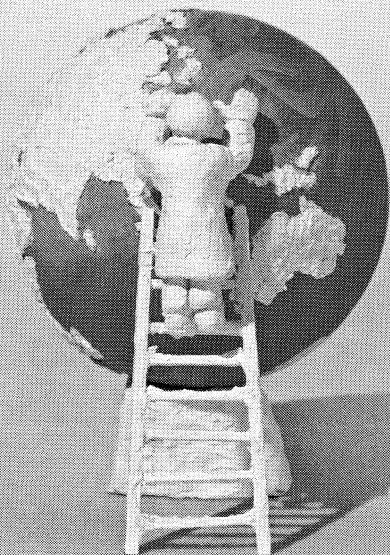


株式会社 名機製作所 〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2 <http://www.meiki-ss.co.jp>

本社・工場 TEL 0562-48-2111 (代) 中部支店 TEL 0562-47-2391 (代)

岐阜出張所 〒501-6001 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 TEL 058-247-2674 (代)

地球快適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを快適化するのが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

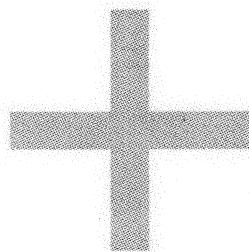
三菱化学株式会社
Telephone:03-6414-3000
URL:http://www.m-kagaku.co.jp

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

【プラスアルファ】



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン
オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターベレットもあります。

■ シリコーン離型剤
オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤
合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン
セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

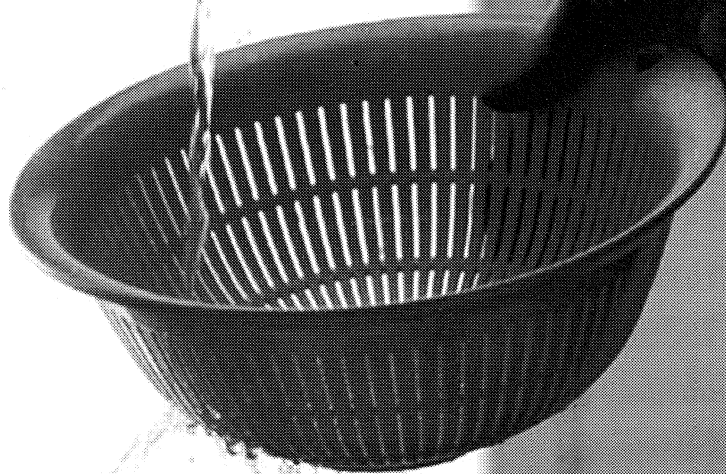
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 近鉄新名古屋ビル
名古屋支店 シリコーン部 (052) 581-6515

くらしのこだわり…

**HOME &
HOME**

-RISU BASIC-

リス
CROISSANTE



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つの Point

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目27番地
大岐阜ビル12階
TEL：<058>265-2231

●リスパック株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社

●リスホームリビング株式会社
●リスジョイントプロダクツ株式会社
TEL：<03>5821-8222